

28. 兵庫県 「高校生サークルの、エコって青春。」

マイバッグ、マイうちわ。高校生の情熱が街のエコ意識をガラリと変えた！

【団 体】兵庫県立三木北高等学校 環境研究サークル ECO-P

【タイトル】ECO2.0 高校生発！地球温暖化防止キャンペーン

【活動概要】

「ECO-P（えこぴい）」は、環境に関心を持つ高校生 11 名が様々な斬新なアイデアを考案し、それを関係団体・行政に提案、多くの団体・個人と連携して地域の地球温暖化防止を推進するサークル。地元商店街とともに地域活性化と連動させた「マイバッグ運動」、間伐した竹製のうちわを用いた「マイうちわ推進キャンペーン」等を開催。市内だけでなく県内及び全国にも地球温暖化防止活動の環を広げています。



【問い合わせ先】

兵庫県地球温暖化防止活動推進センター TEL 078-735-2738

<http://www.eco-hyogo.jp/ondancenter/>

29. 奈良県 「朝のラッシュから、クルマが消えた。」

全国初！朝の駅前マイカー規制で、渋滞もCO₂も激減！

【団 体】学園前駅周辺のマイカー規制の取り組み（奈良交通（株））

【タイトル】近鉄学園前駅周辺のマイカー規制の取り組み

【活動概要】

近鉄学園前駅周辺地区は、昭和 37 年頃から大阪のベッドタウンとして宅地開発が進み、特に朝のラッシュ時は駅に家族を送迎するマイカーが急増。乗合バスの遅延が一層マイカーの利用増につながる悪循環に。そこで昭和 60 年より、国土交通省・警察・自治体・関係機関と地元住民による粘り強い協議が行われ、朝ラッシュ時の 1 時間、駅周辺南北 3.1 キロの駅行き車線をバス・タクシー等のみの通行とする交通規制を全国で初めて実施。バスの定時性が確保され、マイカーからの排気ガスが削減できました。



【問い合わせ先】

奈良県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0742-35-6730

<http://naso.jp/takumi/>

30. 和歌山県 「まちの電気は、まちで作れる。」

市民のチカラで、4個の自然エネルギー発電。まもなく5個めの小水力発電所、オープン！

【団 体】紀州えこなびと

【タイトル】市民共同発電で元気なまちづくり

【活動概要】

紀州えこなびとは、経済活動と環境配慮を両立させた持続可能な社会の実現を目標に、市民共同発電事業を実施。「みんなで考え、みんなで取り組む」をキーワードに、世代や職業など関係なく、設置から発電した電力の使用までをみんなで話し合っている。市民の力だけで行う地域のニーズに合った自然エネルギーの発電施設は、これまでに和歌山県の紀北地域に4基設置。来年度は紀南地域に小水力発電施設を設置予定です。



【問い合わせ先】

和歌山県地球温暖化防止活動推進センター TEL 073-432-0234

<http://wenet.info/wenet/project/isson/>

31. 鳥取県「割り箸も天ぷら油も、10年前から資源です。」

10年前の中海の水質浄化から始まった、町ぐるみで割り箸・廃天ぷら油再資源化運動。

【団 体】彦名地区チビっ子環境パトロール隊

【タイトル】中海水質浄化から始まった

割り箸・廃天ぷら油の再資源化運動

【活動概要】

家庭から出る生活排水と中海の水質汚濁の勉強が始まり、水質汚濁の大きな原因となる廃天ぷら油の回収がスタート。この活動が、現在BDF製造にまで発展しています。

パトロール隊を指導する向井哲朗氏は、子供達との勉強会で出た素直な疑問「教科書には緑が大切と書いてあるのに、おじさんの紙工場では森林破壊しているの？」という問いかけから、全国で初めての試みでもあった割り箸回収を展開。今では地域全体での取組となり、更には全国へと発信しました。



【問い合わせ先】

アーピーとっとり&賀露おやじの会 TEL 090-1184-2878

http://www.geocities.jp/karo_oyaji/stop/stopindex.html

32. 島根県「落ち葉 拾って、集めて、リサイクル！」

スターになった、厄介者の落ち葉。

【団 体】 上乃木 2 区自治会連合会

【タイトル】 けやき落ち葉拾い大作戦!!

【活動概要】

街路樹地して樹齢 50 年にもなるケヤキが 80 本植わっている松江市上乃木 2 区の「けや木通り」。秋になると、落ち葉が大量に出て、その処理（焼却処分）のため多くのエネルギーを消費し、地域住民や道路の管理者からは厄介者あつかいされてきました。長年の研究の結果、その落ち葉の堆肥化に成功。処理に要していたエネルギーの削減に貢献できたのです。今では、地域住民や企業・団体など総勢 400 人余りが参加し活動しています。



【問い合わせ先】

島根県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0852-32-5953

<http://www.shimane-furekan.or.jp/kankyo/chikyu/network/index.html#jyusho>

33. 岡山県「木くずだって、電気つくれます。」

真庭地域の木質バイオマス資源で、エコ発電と CO₂ 削減。
目標、日本一のバイオマスタウン！

【団 体】 銘建工業株式会社

【タイトル】 木くずを燃やしてエコ発電と CO₂ 削減！
木質バイオマス利活用の先駆者です！

【活動概要】

地球温暖化防止と燃料費の大幅削減、工場からごみを出さないゼロエミッションを目的に、1970 年に重油から木屑焚きボイラーに転換。96 年には 20 トン焚き大型ボイラーと自家発電装置を導入。年間 33,346 t の CO₂ 削減を行っています。製造過程で生じるプレーナーチップは、ペレットに加工し、全国に販売。木材産地の先駆的取り組みとして高く評価されています。「バイオマスタウン」を目指す中核的存在です。



【問い合わせ先】

岡山県地球温暖化防止活動推進センター TEL 086-224-7272

http://www.kankyo.or.jp/koueki/ondanka/isson_ippin.html

34. 広島県「市民どうしが、CO₂ 排出量取引。」

町ぐるみで、市民版 CO₂ 排出量取引に挑戦。

その名も GETS (Group Emissions Trading System) で削減目標をゲット！

【団 体】 ひがしひろしま環境家族

【タイトル】 広げようGETSで環境家族

グループで取り組む市民版排出量取引

【活動概要】

「グループで取り組む市民版 (CO₂) 排出量取引 Group Emissions Trading System=GETS (ゲッツ)」という新たなしくみを活用した、地域ぐるみの CO₂ 排出量削減運動。GETS は、グループ・地域で排出量取引を行うことで、地域ぐるみで助け合える仲間「環境家族」をつくり、CO₂ の削減目標達成をめざしています。



【問い合わせ先】

広島県地球温暖化防止活動推進センター TEL 082-293-1512

<http://www.kanhokyo.or.jp/ondan/ondan.html>

35. 山口県「古新聞から、エコの家。」

県産材の木や新聞紙リサイクルの断熱材で建てる「木の家」で、エコタウン作り。

【団 体】 株式会社 安成工務店

【タイトル】 環境共生の家づくりを通じた地域循環・地域経済の両立

【活動概要】

新聞紙をリサイクルし、製造負荷の少ない「セルロースファイバー断熱材 (デコスドライ工法)」を開発。新聞紙を工場に持ち込むことで地域通貨「エコロ」を発行して地域に還元する地域循環システムを構築しました。現在、環境共生技術を注ぎ込んだ「安岡エコタウン」を開発。木の家、OM ソーラー、CF 断熱材に加え、雨水利用や、ペレットを燃料として給湯・暖房・冷房を行う地域集中冷暖房システムを 20 区画に設置しています。



【問い合わせ先】

山口県地球温暖化防止活動推進センター TEL 083-933-0018

http://www.yobou.or.jp/yccca/tome_op.htm

36. 徳島県「リサイクルショップ」だし、自然エネルギーにしました。」

様々なハンディーを持った人々が働く、自然エネルギー活用のリサイクルショップ。

【団 体】 NPO法人太陽と緑の会

【タイトル】 使わなソソソソ！自然の恵みで地球も人も快適に

【活動概要】

様々なハンディーを持ったメンバー達と、リユース・リサイクル活動が続けてきたNPO法人太陽と緑の会。平成17年の火事で全国的な支援を受け、『太陽と緑の会自然換気システム』を独自で考案建設。事務所・面談室を除きエアコンを設置せず、太陽光発電パネルと太陽熱温水器を導入し、電気とお湯の多くを自家生産。大幅なCO₂削減と環境学習の場としても、中高生や市民等に学習会を行っています。



【問い合わせ先】

とくしま環境県民会議 TEL 088-621-2210

<http://www.pref.tokushima.jp/Generaladmin.nsf/topics/E4A5E58C1A836A3E4925739B0010A594?opendocument>

37. 香川県「子どもたちで、学校の電力へらしました。」

実験や体験を通して小学生がつかんだユニークな省エネのコツ、一挙発表。

【団 体】 三豊市立下高瀬小学校

【タイトル】 スマートライフを広げよう

【活動概要】

子どもたちがエネルギーの無駄遣いをなくそうと活動を始め、実験や調査を行い、省エネのコツを見つけていきました。見つけた省エネのコツを省エネ教室で互いに検証し、深めるとともに、省エネルギーセンターなどと連携し、農業体験や和紙づくりなどの体験から学んだことを省エネのコツに加えていきました。そして、校内での呼びかけを行い、校内の消費電力量を削減。省エネCMをつくり、地域にもよびかけたり、市の広報に活動の様子を掲載して市全体へも発信。



【問い合わせ先】

香川県地球温暖化防止活動推進センター TEL 087-833-2822

<http://www5.ocn.ne.jp/~k-ecc/eecoto/eecoto.htm>

38. 愛媛県「キャンパスで 笑ってエコする エコ川柳」

エコ川柳ステッカーをキャンパスに貼って、温暖化防止を啓蒙する、学生グループ。

【団 体】「温暖化防止まつやまネットワーク」学生ワーキンググループ

【タイトル】キャンパスライフから広げよう！温暖化防止の仲間づくり

【活動概要】

「温暖化防止まつやまネットワーク」学生ワーキンググループ（WG）は、キャンパスライフの中で最も効果の高い温暖化防止行動として、「エレベーターの使用は控えめに」、「紙は両面印刷」、「冷房は 28℃、暖房は 20℃」、「NO！レジ袋」、「ごみは少なく、分別はしっかりと」の 5 項目を提案。昨年度、各項目をテーマとしたエコ川柳を一般公募し、各テーマの入選作品を掲載した温暖化防止啓発用ステッカーを作成。市内の大学、専門学校等で温暖化防止行動を促しています。



【問い合わせ先】

愛媛県地球温暖化防止活動推進センター TEL 089-989-1068

<http://2007.e-ondankastop.main.jp/?eid=590582>

39. 高知県「いまどきのコドモ、エコキャラで笑う。」

幼稚園で、学校で。楽しいキャラクターのパフォーマンスで、子どもたちに温暖化防止教育しちゃう。

【団 体】高知大学同好会こどもの森（初等教育・環境教育研究会）

【タイトル】太陽ちゃん・パネルマン大活躍！

【活動概要】

幼児期からの環境教育カリキュラムとして温暖化防止の環境劇を行っています。地球温暖化のことをわかりやすく劇にし、子どもたちが地球温暖化の恐ろしさに気づき、省エネについて考えられるような内容です。劇を通して学んだことを、手動式発電機や自転車発電機を使って実際に体験するプログラムなので、電気を大切に使おうという気持ちが芽生え、子どもたちだけでなく、保護者やその家庭内にも広めています。



【問い合わせ先】

高知県地球温暖化防止活動推進センター TEL 088-802-2201

<http://ecolabo-kochi.jp/kotukotu/index.html>

40. 福岡県「省エネで、足腰も丈夫になる」共和国 宣言。

健康づくりとCO2削減で、団地を再生。その名も、葉山共和国。

【団 体】葉山ヘルスケア・省エネ共和国

【タイトル】ニッポンを元気にするための解決策「葉山共和国モデル」

【活動概要】

葉山ヘルスケア・省エネ共和国は、住民の健康を守る「ヘルスケア」という共通認識のもと、社会貢献のための中心的活動として、「省エネ」を推進。健康や住みよい地域づくりという身近な視点から、自分でできる「省エネ」に取り組んでいます。活動はまちづくりの一環として捉え、あらゆる活動を通じて、住民の融和を図っています。これにより、「省エネ」に対する理解とコンセンサスが生まれ、企業・大学などと連携した「省エネ」のネットワークが葉山地区に広がっています。



【問い合わせ先】

福岡県地球温暖化防止活動推進センター TEL 092-674-2360

<http://www.fccca.jp/>

41. 佐賀県「ごみくい」って、知ってます？」

小川の泥をみんなですくって田畑にまく「ごみくい」。
生態系を壊さない昔の農法を再生します。

【団 体】三気（元気・有機・活気）の会

【タイトル】ゴミクイを活用した有機農業の推進

【活動概要】

クレーク文化圏である佐賀の知恵“ごみくい”。この伝統を復活させることにより、栄養素資源の枯渇する時代の中で有機資材を確保し、循環型農業を持続的に実現。また、水辺環境生態系を再生し、安全・安心な食料の安定供給を図っています。また、地元子ども会、小中学校、大学、市民等に対し、農業体験に基づく環境教育・生涯教育を行い、住民のゆとりを取り戻すことで、地域コミュニティを再構築。さらに、安全・安心な地域環境確保のために地元大学と連携し、土・水中の有害重金属および残留農薬の分析評価を行っています。



【問い合わせ先】

佐賀県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0952-20-2073

<http://eco.sagafan.jp/>

42. 長崎県「ゲンキな（元気菜）コンテスト。」

生ごみリサイクルの土で育てた「元気野菜」のおいしさを競うコンテストで、エコ意識を啓発。

【団 体】 チーム・リサイクル（し）隊

【タイトル】 元気菜！コンテスト

【活動概要】

生ごみ減量化、廃油石けん作りなどの環境対策に取り組む、平成 16 年から長崎県の生ごみ減量化事業に参加。行政や関係団体とのネットワークづくりで活動の場が広がり、市民に生ごみ減量化リサイクルをアピール。現在「元気野菜コンテスト」で市民がこの活動に気軽に取り組めるように、環境問題に取り組む地元スーパーの協力を得て店の一角に資料や資材を置いています。さらに、食育分野とつながることで、「命の循環」や「自然との関わり」を考えるきっかけづくりにもなっています。



【問い合わせ先】

長崎県地球温暖化防止活動推進センター TEL 095-818-3305

<http://www.npo-ecan.org/>

43. 熊本県「まち、まるごと ISO。」

役所も家もお店も学校も旅館も、オリジナルの ISO で温暖化対策。

【団 体】 水俣市

【タイトル】 地域全体丸ごと ISO

【活動概要】

熊本県内では初、全国では 6 番目に ISO14001 の認証を取得、82 項目に及ぶプログラムを構築・実施。その結果、地域イメージの向上、環境モデル都市づくりに向けた市民の啓発、職員の環境意識の高まり、省エネルギーの推進とそれに伴う経費節減、地球温暖化防止といった様々な効果が現れました。また水俣市のオリジナルの家庭版、お店版、学校版、幼稚園版、旅館版といった独自の ISO を次々に創設し、地域全体で実践活動を展開。



【問い合わせ先】

熊本県地球温暖化防止活動推進センター TEL 096-356-4840

<http://www.kuma-ontai.jp/>

44. 大分県「環境都市日本一になるぞ！」

生ごみがエネルギーの市営発電所「バイオマス資源化センター」と、
全小中学校の環境ISO認定。

【団 体】日田市

【タイトル】「環境都市日本一」をめざす大分県日田市の取り組み

【活動概要】

市内全世帯及び全事業所から排出される生ゴミを
分別収集して資源化。バイオマス利活用による循
環型社会の構築を図っています。また、子どもた
ちが環境問題の大切さを理解し、教職員・児童・
生徒が一体となって「環境に良い学校づくり」に
向け取り組めるよう、平成12年度に「日田市学校
版環境ISO認定制度」を創設。現在、市内の小中学
校42校全てが認定を受け、積極的な環境教育を実
施。昨年の市町村合併後2年足らずで、新たに加
わった町村全ての小中学校で取得してます。



【問い合わせ先】

大分県地球温暖化防止活動推進センター TEL 050-7548-6795

<http://oec.main.jp/>

45. 宮崎県「まちは、キッチン産のエネルギーで動きます。」

廃油も地産地消。じぶんたちで、バイオエネルギーを作ろう。

【団 体】バイオマス研究会、宮崎市

【タイトル】宮崎市・バイオ燃料における官民の取り組み

【活動概要】

廃油の回収、BDFを作るための装置の製作、燃料
の精製作業と研究、燃料の使用と車両への影響の
研究、副産物の有効利用への研究、原料となる植
物の栽培研究などを行っています。また、自治会
等が、回収拠点などを決めた上で登録し、家庭か
ら排出される植物性の廃食用油を回収しています。
回収に必要な容器は、宮崎市から貸与し、団体ご
とに1ヶ月に1度回収。集めた廃食用油をBDFに
再資源化し、同市のごみ収集車の燃料として利用。
回収に協力する団体に対しては、1リットルあたり70円の報償金を交付しています。



【問い合わせ先】

宮崎県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0985-23-0322

<http://www.mc3a.org/>

46. 鹿児島県「ゴミって、28個も分別できるんです。」

28 項目のごみ分別から、無農薬野菜栽培まで。
エコなこといっぱい取り組む、スーパーエコタウン。

【団 体】大崎町

【タイトル】「知恵の環(わ) ひとの環(わ) 資源の環(わ)」ストップ温暖化プロジェクト
～住民・企業・行政が一体となった資源循環型のまちづくり～

【活動概要】

住民と行政の協働活動である 28 品目にわたるごみの分別収集、住民組織「衛生自治会」が主体となって取り組んでいる「菜の花エコプロジェクト」、行政の「チーム・マイナス6%」をスローガンにした地球温暖化防止活動実行計画に基づく率先行動、商工会と行政が連携し、住民参加型の温暖化対策を推進する「省エネ家族・応援プラン」など、住民、企業、商工会、学校および行政などが地域ぐるみで一体となり活動しています。



【問い合わせ先】

鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター TEL 099-805-0158

<http://www.kagoshima-env.or.jp/>

47. 沖縄県「地豆腐食べて、CO₂を減らそう。」

豆腐を、大豆づくりから再現。うまさもフードマイレージも、優等生。

【団 体】繁多川公民館

【タイトル】「知恵の環(わ) ひとの環(わ) 資源の環(わ)」ストップ温暖化プロジェクト
～住民・企業・行政が一体となった資源循環型のまちづくり～

【活動概要】

沖縄在来種の大豆オーヒーグー（青ヒグ）、高アスターを地域の人々が栽培・普及し「昔の繁多川豆腐」を再現。住民間のコミュニケーションの場や機会を広げ、繁多川地域のさらなる活性化・まちづくりの一助としています。また、地産地消を促進し、フードマイレージによる温暖化対策を実行中です。



【問い合わせ先】

沖縄県地球温暖化防止活動推進センター TEL 098-945-2686

<http://blog.canpan.info/okica/>